

キンダーブック1

2月号



表紙の絵から

雪が積もった、寒い日。くまさんは暖かい毛糸の小物屋さんになって、湖のスケートリンクにやってきました。毛糸で編んだすてきなマフラー、帽子、手袋など、どれを身につけてみたいか話してみましょ。スケートや雪だるまなど、冬ならではの遊びに話題を広げてもよいですね。



みんなで やろう

ねらい 困っている友だちとの関わり方を知り、協力する心地よさを感じましょ。



ダンスの練習中、もんたくんは困った顔をしています。「もんたくん、元気がないね。みんなだったら、こんなときどうする？」と尋ね、自分のこととして考えられるように促しましょ。くるりちゃんがもんたくんのようすに気がついたことを伝え、くるりちゃんの行動に注目させましょ。

くるりちゃんが、もんたくんにやさしく声をかけたことに着目します。どうして困っているのか、ことばで気持ちを伝えることができたもんたくんや、すぐにかけ寄ってきたくるりちゃんたちの行動をほめてあげましょ。



ひとりで遊ぶことも楽しいですが、友だちと協力すると、できることや楽しさの幅が広がることを伝えましょ。ひとりで行動もたいせつにしながら、友だちと協力し合う心地よさを感じられるとよいですね。



あつまれ！ ふゆやさい



ねらい 冬野菜の種類や育ち方に関心をもちましょ。

つかい方のポイント 土の上で育つ野菜と土の下で育つ野菜があることを伝えましょ。ほかの野菜がどこで育つのかを考え、発表しても楽しそうです。冬の寒さから身を守りながら育つ冬野菜には栄養がたくさんあることを話し、食への興味を広げましょ。



みんなで まめまき



ねらい 人間の子と鬼の子の関わりをとおして、節分に興味をもちましょ。

つかい方のポイント 「急に鬼の子たちが園に来たら、みんなはどうする？」と尋ね、想像してみましょ。やさしく受け入れられた人間の子たちに注目し、他者への理解が深められるとよいですね。いっしょに豆まきをするつもりで声を出しても楽しそうです。

「キンダーブック1」を 保育にご活用ください！

絵本をつかった 指導計画の文例

コーナー	子どもが経験すること	保育者の配慮	5領域
<p>「みんなで やろう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 困っている友だちがいたらどうするか考える。 友だちといっしょに何かをすることの楽しさを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 困っている友だちがいたら、自分だったらどうするかを考えられるように尋ねる。 友だちを応援したり、応援されたりすることで、お互いの力になることを伝える。 自分が困っているときは、どうすればよいのかを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境 人間関係 言葉
<p>「どれをつかって たべる？」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 食べ物には、それぞれ適した食具があることを知る。 料理ごとに、どの食具をつかうと食べやすいか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 料理の形や大きさを考えて、食具を選ぶことを伝える。 実際にお昼ごはんのとき、どの食具をつかって食べているか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康 環境